

筑波大学東日本大震災復興・再生支援プログラム

筑波大学農林技術センター

2011年3月11日に発生した東日本大震災は広範な地域に渡り深刻な影響を引き起こしました。筑波大学では復興・再生支援ネットワークを形成し、放射線対策、産業再生・創出、防災・まちづくり、健康・医療・心のケア、科学振興・人材育成、芸術による復興支援、学生の取り組みの7分野で、大学をあげて様々な社会貢献活動を実施しています。農林技術センターは筑波大学東日本大震災復興・再生支援プログラムの一つとして、放射線対策で「広域被災地の農業復興に向けた放射性物質の移行モニタリングと芝生等被覆作物による土壌中の放射性物質の物理的・生物学的除染と減量化」および健康・医療・心のケアで「被災地における心の復興：とくに児童生徒を対象に」の二つのプログラムを実施して、被災地の復興・再生の支援を実施しています。

筑波大学復興・再生支援ネットワーク <http://scpj.tsukuba.ac.jp/program/>

東日本大震災復興・再生支援プログラム <http://www.tsukuba.ac.jp/disaster0311/supportprogram.pdf>

広域被災地の農業復興に向けた放射性物質の移行モニタリングと芝生等被覆作物による土壌中の放射性物質の物理的・生物学的除染と減量化

食の安全安心を担保して農業復興を支援するため、広範囲に広がる放射性物質降下域で、多様な農作物の放射性物質移行係数を明らかにし、短期的かつ効果の高い土壌除染方策を見いだそうとします。特につくば芝生事業協同組合の協力を得て、シバによる即効性の生物的除染手法と、その減量化についても検討します。



被災地における心の復興：とくに児童生徒を対象に

北茨城市において大学内の各専攻領域に基づき、教員と学生が学術ボランティア活動を児童・生徒に対して行うことで、児童・生徒のコミュニケーションを促進し、孤立やPTSDの発生を防ぎます。農林技術センターは精華小学校、常北中学校、中郷小学校の3校で、くだもの電池、たまごとヒナの観察、稲から米へ、花のしおりを作ろう、スターリングエンジンを作ってみよう!、糸を紡ぐ、の6活動を実施してきています。



筑波大学農林技術センター
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL:029-853-2596 FAX:029-853-6205
<http://www.nourin.tsukuba.ac.jp/>

